

京都市立金閣小学校の 森林教室

京都森林インストラクター会
磯野 文彦



平成28年1月25日
ESD活動報告・意見交換会

森林インストラクターについて

1. 森林インストラクターとは、(社)全国森林レクリエーション協会が実施する資格試験に合格し、同協会に登録された「森林インストラクター」の資格を持つ人の称号です。
2. この資格制度は平成3年度に農林水産大臣認定資格として発足しました。
3. この資格制度は、森を利用する一般の人々に対して森林と林業についての知識を伝え、森林の案内や森林内での野外活動の指導者を育成し、森林の総合的な利用、山村と林業の活性化に役立つことを目的としています。
4. 平成27年現在、全国で3,092名(京都府で66名)の森林インストラクターが登録されています。

京都森林インストラクター会概要

- 設立 平成10年
- 会員 69名(平成27年12月現在)
京都府内の森林インストラクターなど
- 目的
 - ・森林・林業・自然環境問題に関する普及
 - ・会員の知識・技能の向上のための研修等
 - ・会員相互の情報交換・経験交流等

京都森林インストラクター会の活動概要

京都森林インストラクター会(平成26年1月～7月)活動内容									
月	活動日	行 事 名	行 事 内 容	活動区分	参加 会員	一般参 加者等	国有林を活用		
							安祥 寺山	衣笠 山	そ 他
1月	1/12	ガールスカウト	ベンチ作り&竹ご飯体験	本番	8	25	●		
(3件)	1/19	安祥寺山定例	炭窯撤去・除間伐	本番	8	0	●		
	1/29	遊々の森(金閣小)	5年生森林教室	本番	5	85		●	
	2/12	遊々の森(金閣小)	4年生巣箱はずし	本番	6	94		●	
2月	2/21	京都SKYセンター	樹名板作成・階段整備	本番	3	14			
3月	3/5	遊々の森(金閣小)	3年生巣箱づくり	本番	7	88		●	
	3/8	和束町雇用促進協議会	第3回目・講座&実習	本番	4	8			
	3/11	ガールスカウト	ガールスカウトの森間伐	本番	8	2			
	3/12	遊々の森(金閣小)	3年生巣箱かけ	本番	3	86		●	
	3/14	京都SKYセンター	樹名板取付・シイタケ菌打	本番	6	15			
	3/15	ガールスカウト	ガールスカウトの森間伐	本番	6	1			
	3/16	ガールスカウト	ガールスカウト連盟行事	本番	3	40	●		
	3/29	衣笠山モデル林	モデル林区画設定・林床整備	本番	7	0		●	
	4/12	安祥寺山定例	ばちんこ作り・除間伐	本番	8	0	●		
4月	4/19	京都生協	森林保全体験会	本番	3	35			
	4/20	ガールスカウト	観察会・木工・ゲーム	本番	6	18			
	5/3	ステイールの森	新緑祭	本番	7	42			
5月	5/9	京都SKYセンター	SKYの森クラブ	本番	9	18	●		
	5/10	竹の環プロジェクト	竹の環プロジェクト・春編	本番	6	112			
	5/11	ステイールの森	GOOUT CAMP 関西	本番	2	30			
	5/18	安祥寺山定例	ぶり縄・枝打ち作業	本番	15	1	●		
	5/24	J-WESTの森	自然観察会	本番	4	8			
	5/24	京セラの森	春の森林整備・竹のクラフト	本番	4	50			
6月	6/1	ガールスカウト	山菜天ぷら&間伐体験	本番	11	46	●		
	6/13	京都SKYセンター	SKYの森クラブ	本番	7	17			
	6/21	会員研修	間伐(選木と伐倒の実際)	本番	12	0	●		
	6/27	三洋化成の森	新入社員研修・森林整備	本番	6	68			
	6/29	安祥寺山定例	ぶり縄・枝打ち作業	本番	9	3	●		
	7/5	衣笠山モデル林	第1回植生調査	本番	7	0		●	
7月	7/19	京都の森を守るうオーク	山で昔遊びに挑戦だ!	本番	15	265			●
	7/26	安祥寺山定例	環境整備・木登り器研修	本番	8	0	●		
	7/28	京都市教育委員会	御苑フィールドワーク	本番	12	40			

国有林を活用:協定締結等により国有林をフィールドにした活動

対象:

学校等教育機関	11回
企業等	9回
親子等一般	8回
団体所属メンバー	19回
当会会員	12回

国有林を活用のうち
 ●:安祥寺山
 「ふれあいの森」での活動
 ●:衣笠山
 「遊々の森」での活動

京都森林インストラクター会の活動概要

京都森林インストラクター会(平成26年9月～12月)活動内容

月	活動日	行 事 名	行 事 内 容	活動区分	(人)		国有林を活用			対象:
					参加 会員	一般参 加者等	安祥 寺山	衣笠 山	その 他	
9月 (7件)	9/6	三洋化成の森	森づくり活動・間伐体験	本番	5	63				学校等教育機関 企業等 親子等一般 団体所属メンバー 当会会員
	9/7	安祥寺山定例	除間伐とロープワーク研修	本番	7	0	●			
	9/12	京都SKYセンター	SKY森のクラブ	本番	8	18	●			
	9/20	京都SKYセンター	SKYフェスティバル・展示販売	本番	6	90				
	9/21	京都SKYセンター	SKYフェスティバル・展示販売	本番	6	47				
	9/27	ムラタの森	モデルフォレスト・キックオフイベント	本番	3	128				
10月 (8件)	9/27-28	会員研修	日吉町森林組合ほか	本番	16	2				国有林を活用のうち ●:安祥寺山 「ふれあいの森」での活動 ●:衣笠山 「遊々の森」での活動
	10/4	京都モデルフォレスト協会	衣笠山森林教室	本番	9	24		●		
	10/10	京都SKYセンター	SKYの森「シイタケ原木伐採」	本番	10	14				
	10/18	J-WESTの森	自然観察会	本番	3	30				
	10/18	竹の環プロジェクト	秋編・プロジェクト	本番	5	75				
	10/19	花脊山村都市交流の森	花脊三本杉・トレッキング	本番	4	8				
	10/21	京都市教育委員会	北下支部・地域教育主任研修	本番	4	7		●		
	10/25	森林総合研究所	広葉樹二次林毎木調査	本番	7	3				
	10/27	森林総合研究所	広葉樹二次林毎木調査	本番	2	3				
	11/7	遊々の森(金閣小)	金閣小3年森林教室	本番	11	99		●		
11月 (7件)	11/8	府立林業大学校	森林保全研修 森の健康診断	本番	9	16	●			
	11/15	府立林業大学校	森林保全研修 枝落、間伐	本番	6	15	●			
	11/15	京セラの森	秋の森林整備	本番	2	44				
	11/23	和束町雇用促進協議会	ビジネスカレッジ2014	本番	5	8				
	11/24	ガールスカウト	ガールスカウトの森間伐	本番	8	0				
	11/29	府立林業大学校	森林保全研修 鹿柵、歩道	本番	7	16	●			
	12/6	京都の森を守るウオーク	薪割大作戦	本番	18	181			●	
12月 (5件)	12/7	京都モデルフォレスト協会	森林体験ツアー・雲ヶ畑	本番	5	18				
	12/12	京都SKYセンター	SKY森のクラブ・花炭焼等	本番	5	13	●			
	12/14	和束町雇用促進協議会	ビジネスカレッジ2014	本番	6	12				
	12/16	千代川小学校	5年森林教室	本番	7	99				
			59件		409	2,244	16	9	2	

国有林を活用:協定締結等により国有林をフィールドにした活動

小学校の総合学習での森林活動支援



金閣小学校(平成13年～)



御所南小学校(平成14年～16年)



翔鷹小学校(平成24年～25年)



御室小学校(平成20年～25年)



金閣小学校での総合学習支援



金閣小学校での活動状況

年度			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
学年	内容	時期																
3年	森林教室 (自然観察)	10月																
	巣箱かけ	3月																
4年	巣箱かけ	3月																
	巣箱外し	2月																
	タイプ別森林 観察	2月																
	キノコの 菌打ち	3月																
	10周年記念 植樹	3月																
5年	巣箱外し	3月																
	キノコの 菌打ち	3月																
	季節ごとの観察・ チーム別調査	3回/ 年																
	森と人とのか かわり	-																
6年	ほだ木 本伏せ	6月																
3年生の児童数			100	135	117	125	113	144	125	117	111	99	107	81	83	85	85	3年生合計
			↑「遊々の森」締結															
			1. H13年から3年生の森林教室(自然観察)は継続。															
			2. H15年に「遊々の森」協定を締結したことで、巣箱かけやキノコの菌打ちなどができるようになり 国有林内で活動の幅が広がった。															
			3. 巣箱かけはH15年のみ4年生が実施。H16年以降は3年生が実施。															
			4. 4年生では1年前にかけた巣箱を外すついでに、衣笠山の自然をもう少し詳しく学習。															
			5. キノコの菌打ちは、4,5年おきに実施。															
			6. H23年から継続している5年生の「森と人とのかわり」では、森林の果たす役割や、 私たちの生活との結びつきを学習。															

「遊々の森」とは？

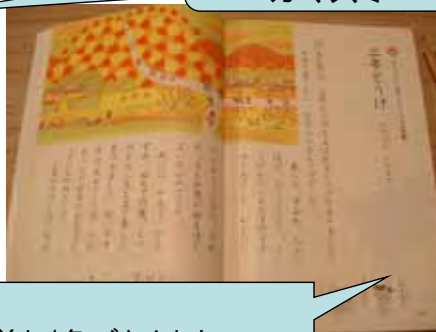
学校と森林管理署長が協定を結び、
森林体験学習のフィールドとして
国有林を継続的に利用できるようなする
制度です。
(平成14年～)

この協定で当会は、森林環境教育ボランティア協力団体
として森林管理局長より委嘱されています。

3年生 森林教室(自然観察)



「三年とうげ」の
ガマズミ



三年とうげ(国語の教科書)

…秋には、かえで、がまズミ、ぬるでの葉が美しく色づきました…



「エビフライ」
リスがまつぼっくり
の中にある種を
食べた跡。



イノシシが
地面を掘り返して
ミズなどを探した跡。



3年生 森林教室(自然観察)



森林観察後
学校へ戻りQ & Aタイム

拾った落ち葉で
こすり出し



拾ったどんぐりで
キーホルダー作り



3年生 巣箱かけ



まず、鳥の生態、
鳥の巣などについて
説明。
また捕食者、被捕食
者としての野鳥の役
割を他の生き物との
つながりでも説明。

巣箱につける表札に
鳥の絵を描きながら、
鳥の体について学習。



3年生 巣箱かけ



再利用する巣箱
には「鳥の表札」を
打ち付けます。

みんなで巣箱かけ



3年生 巣箱かけ



シジュウカラ、ヤマガラが
何度も営巣しています。

4年生 衣笠山と人とのかわり



衣笠山には
いくつかのタイプの
森林があることを
観察しながら学ぶ。



最後は山頂から
「けもの道」探検
(急坂下り)

5年生 衣笠山と人とのかわり



「水・土・木材」をテーマに
森のはたらきを学ぶ。

ナラ枯れの仕組み
や衣笠山での現状
について説明。

川を見ながら、
山が水をたくわえ
ゆっくり流す働き、
木々の根が土砂の
流出を防いでいる
働きなどを説明。



5年生 キノコの菌打ち



キノコについて学習した後、ほだ木にドリルで穴を開けて菌打ちを実施。



シイタケ、ナメコ発生中！

学校との連携 1 - スーパーエコスクール



金閣小は平成24年にスーパーエコスクール(ゼロエネルギー)に指定され、エコ改修を実施。
『しかし、このエコ改修が、「古い」→「新しい」、
「汚い」→「きれい」という変化程度にしか認識されていない現状。

「環境」について考える視点を増やし、児童の課題発見力を高めたい。」

その活動の一環として、環境教育の一翼を3～5年生の森林教室が担っている。

学校との連携2 - 先生の下見・事前学習

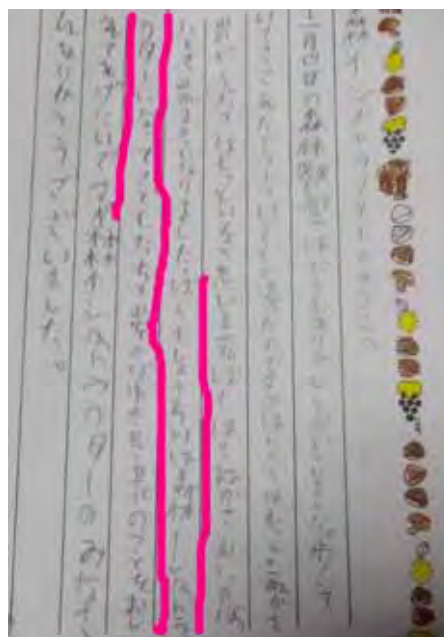


3年生の森林教室では、毎年先生と一緒に下見をし、事前授業をしてもらっている。児童の期待を盛り上げている。



児童は森林インストラクターを信頼してくれているし、衣笠山の自然に対する興味が湧いている。
私たちとしては、とても案内しやすい。

学校との連携3 - 行事終了後の学習



行事終了後のおさらい学習をしていたことで、子ども達の心に山での学習がしっかり残る。

いただいた作文は、私たちの励み、反省材料として活用。

「ぼくもしょうらいは、森林インストラクターになって、こどもたちと山をのぼりきのこや花のことをおしえてあげたいです。」

学校との連携4 - 教職員対象の「森林教室」

平成25年(2013年)に金閣小学校の教職員対象を対象(37名)とした森林教室(「第3回校内研究会」)



平成26年(2014年)に京都市立小学校北下支部の地域教育主任研修会(7名)



活動の発展1 - 児童の発表



「学校林・遊々の森」
子どもサミットin京都

平成24年8月6日, 7日

第10回京都環境教育
ミーティング
平成26年3月1日



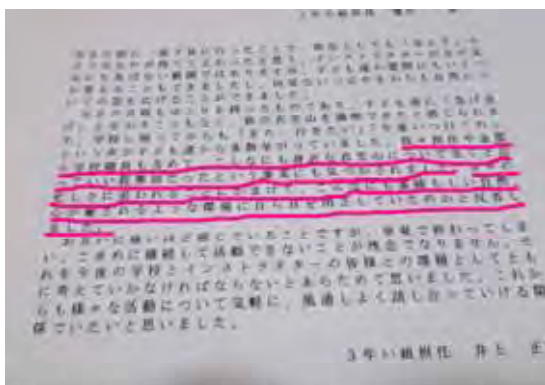
活動の発展2 - 学習発表会での発表(3年生)



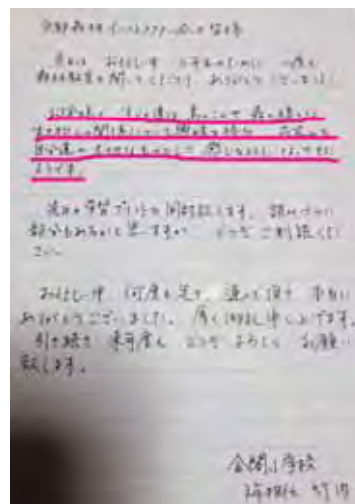
『衣笠山しぜんたんけんたい
～衣笠山のたからをさがしに行こう～』

平成27年(2015年)11月

活動の収穫 - 学校の評価



「…身近な衣笠山について全くと言っていい程無知だったという事実気づかされました。…こんなにも素晴らしい自然、心が癒やされるような環境に自ら目を閉ざしていたのかと反省しました。」



「お陰様で、子ども達は鳥のことや森の様々な生き物との関係について興味を持ち、衣笠山を自分達の大切なものとして感じるようになってきたようです。」

校内研究授業にゲスト講師として参加→



活動の収穫 - 近隣の小学校からの依頼

翔鸞小学校

平成24年～25年に5,6年生が衣笠山で実施。
平成25年には、6年生が5年生の案内役を務めた。



柏野小学校

平成25年のみ衣笠山で実施。
3年生が国語の授業で。

まとめ

他校で続かない理由(これが普通)

森林での学習を進めたい先生がいたとしても、

1. その先生が異動になって終わってしまう。
他にその先生の意志を引き継ぐ先生がいない。
2. その先生や校長先生の方針変更で終わってしまう
(自然以外にも目を向ける)
自然も大事やけど、他にも地域の伝統産業や歴史など
子ども達には様々な経験をしてもらいたい。

まとめ

金閣小学校で継続して活動してきた要因

1. 衣笠山のファンを増やす

先生と一緒に下見をすることで密着指導が可能。
身近な自然を楽しんでもらうことで森林での学習を進めたい先生が増える。

2. 校長先生と話をする

私たちの思いをぶつけることで、森林教室での指導ぶりに感謝され、信頼を得る。
継続して活動できるよう配慮してもらえる。

3. 継続性のあるプログラム

巣箱かけやキノコの菌打ちなど、成果がでるのに時間がかかる活動は
次の学年で再度山に行って成果を確認。ついでにさらに詳しく衣笠山の自然を学ぶ。

4. 身近な自然(学校から近い)

私たちと衣笠山を歩く前から先生と児童で1年生から何度も衣笠山を歩いている。
そんな身近な自然におもしろいものがたくさん見つかる。さらに学習したくなる。

5. 近隣のコアメンバー

衣笠山の近くに住むメンバー3人が活動の中心。一人や二人ではなく3人が重要か。

今後の課題(現状把握)

平成13年(2001年)から継続して活動してきた。

・総合的な学習の時間が減少(105～110時間/年→70時間/年)
限られた時間の中で自然や森林について学習する時間を
継続して確保することは難しくなっている。

・子どもの自然体験の減少
子ども達が自然や森林に接する時間が少なくなっている。

このような状況において、
森林教室を14年継続してきたこと、
3年生から5年生まで段階的に身近な自然を学べていること
に意義がある。
今後もこれを継続していくことが、私たちの使命。

今後の課題

- ・参加会員の確保

学校の授業なので平日開催となり、参加会員の確保に苦労している。新たに会員が参加しやすい仕組みづくりが必要。

- ・プログラムの充実

先生との対話を繰り返し、学校のニーズを把握することで、学校教育との連携をさらに強化。

また、今後も今回のような発表や交流の場に参加し、ESDなど新たな視点を取り入れる。



おわり